

Rapport

2023
Number

122

多摩大学 | 広 報 誌 |

Vol.122 Contents

大学コンソーシアム八王子 令和5年度学生企画事業補助金に採択	02
多摩大学体育会フットサル部 活動報告	02
ChatGPT等の生成人工知能(生成AI)利用に関する留意事項等について	02
松本祐一ゼミ 辻堂団地活性化プロジェクト	03
樋笠堯士ゼミ、田中友理ゼミ ひしり館こども夏まつりでイベントを開催	03
2023年度第1回SRC	04
【後援会報告】	
経営情報学部 後援会定期総会・教育セミナー	05
グローバルスタディーズ学部 後援会定期総会	05
〈グローバルスタディーズ学部〉	
CHP(特別専修プログラム) 学外活動報告	06
多摩大学チーム「遊行の盆」に参加	06
レディオ湘南「グローバルに発信!」出演	06
2023年度 インターゼミ(社会工学研究会)合宿	07
寺島実郎学長の番組紹介	07
「卒業生の志」サイトをリニューアル	07
〈経営情報学部〉ジョブ型人材育成コース活動状況報告	08
【お知らせ】多摩祭/SGS Festa	08

大学コンソーシアム八王子 令和5年度学生企画事業補助金に採択

大学コンソーシアム八王子の令和5年度学生企画事業補助金に、自由企画部門で経営情報学部 梅澤佳子ゼミの「世代間交流八王子駅前サロンプログジェクト 2023」と内藤旭恵ゼミの「八王子市産の多摩産材を使ったお香の開発」が採択されました。

「世代間交流八王子駅前サロンプログジェクト 2023」は地域と協働して学生が高齢者サロンの企画運営を行うもので、「八王子市産の多摩産材を使ったお香の開発」は多摩産材を使い、八王子市や府中市産のハーブから、精油を生成、ブレンドし、お香を開発、商品化します。

7月7日には、八王子市学園都市センターにて採択式が執り行われました。

●大学コンソーシアム八王子 学生企画事業補助金

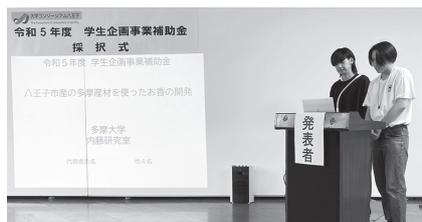
<https://gakuen-hachioji.jp/main-business/kikakuhojo/>



集合写真



梅澤ゼミのプレゼン



内藤ゼミのプレゼン



採択証明書授与

多摩大学 体育会フットサル部

第19回 全日本大学フットサル大会 第2位!

多摩大学体育会フットサル部は、2023年8月25日(金)～27日(日)に岸和田市総合体育館(大阪府)で開催された「第19回全日本大学フットサル大会」で、見事全国第2位となりました。今年で創部11年目を迎えるフットサル部は、東京都代表、関東地域代表として勝ち進み、決勝戦では大阪成蹊大学を相手に攻守が目まぐるしく変わる激しい激闘を繰り広げました。終盤点差を1点に縮める接戦の末、惜しくも敗れましたが全国2位という好成績を収めました。今後とも声援のほどよろしくお願いたします。



【試合結果】

- 8月26日(土) 12時00分キックオフ
vs 東北大学フットサル部(東北地域代表/宮城県)
○ 5-0 <得点者> 明堂、森谷、本田、中村
オウンゴール
- 8月26日(土) 16時00分キックオフ
vs 松山大学フットサル部(四国地域代表/愛媛県)
○ 6-2 <得点者> 澤田、高木、峰嶋×2、明堂×2
- 8月27日(日) 13時00分キックオフ
vs 大阪成蹊大学フットサル部(開催地代表/大阪府)
● 3-5 <得点者> 明堂、本田×2

ChatGPT等の生成人工知能(生成AI)利用に関する留意事項等について

近年、対話型人工知能「ChatGPT」をはじめとする生成系人工知能(生成AI)は急速に性能の高度化を遂げています。これらは今後、ますます技術が進み、また社会にも深く広く浸透していくことが予想されます。学生の皆さんによりよい「学修成果」を得てもらうべく、こうした新技術を柔軟に活用し、また危惧される側面にも十分に配慮し、「学修」に向き合ってもらいたいと考えています。そのため、本学では学生の皆さんに対して以下4点を軸に見解を示しました。

1. AIの本質的課題
2. 生成AIに対する接し方
3. 概念的理解、法整備、及び危険な側面の理解
4. 大学で生成AIを利用するに当たっての留意事項

- ・ レポートの作成、課題の作成、卒業論文・修士論文の作成、学期末試験等において、生成AIが出力した内容を、そのまま使用することを禁止します。
- ・ 生成AIが出力した内容を引用する際は、出典として明記してください。

詳細は下記 URL および右記 QR コードから閲覧することができます。

<https://www.tama.ac.jp/topics/news/2023/06/post-10849.html>



松本祐一ゼミ 辻堂団地活性化プロジェクト

2023年8月5日、身近なまちの活性化への取組として、藤沢市辻堂団地納涼祭（地元自治会主催）に経営情報学部 松本祐一ゼミ 藤沢プロジェクトチームの学生26名が参加し、イベントの企画・運営に携わりました。

イベント会場では、うちわや風鈴作り、オセロゲームを企画し、子供、若者、高齢者まで延べ110名が参加し盛況のうちに終了しました。地域に根ざしたイベントでは、地域住民同士の交流が促進されることで地域全体の結束力が高まり、地域への愛着が深まるとともに、イベント来場者が近隣の店舗を利用することで地域経済の活性化が期待できます。

松本ゼミでは、昨年度から同イベントの運営に参画していますが、本年度は、湘南工科大学地域連携センターの参加の承諾を得て、ともに運営に携わりました。

イベント会場において、松本ゼミは、本学の地域連携活動と「東京都奥多摩町活性化事業開発プロジェクト」を紹介し、湘南工科大学は、地域連携センター「チームFUJISAWA2020」ボランティア活動の取り組みを紹介するなど2大学それぞれの地域活性化への取組について大勢の関心を集める機会となりました。



集合写真



ブース展示



風鈴づくり

樋笠堯士ゼミ、田中友理ゼミ ひじり館こども夏まつりでイベントを開催

2023年8月26日、27日、多摩市立聖ヶ丘コミュニティセンター「ひじり館夏まつり」において、経営情報学部 樋笠堯士ゼミと田中友理ゼミが多摩大イベントを開催しました。

樋笠ゼミは防犯ゲームを開催し、親子約100名が参加しました。防犯ゲームは、登下校時の犯罪から身を守るために、危険な個所を意識させて安全な個所を選択することを目標としています。学校から自宅まで帰宅する最適なルートを選択することをゲームとして行い、街の中には建物や不審人物などたくさんの危険が潜んでいることを想定しながら、危険を避けて、自分の身を守るためのルートを選択するもので、樋笠ゼミ作成のオリジナル地図を用いて行われました。ゲーム会場では、多摩市の防災安全課から、振り込め詐欺被害を防ぐため「自動通話録音機」の無償貸し出し紹介展示が行われ、防災関連のグッズが無償で配布されました。

田中ゼミは「田中先生のふしぎな部屋」と題し、心理学を応用した3つのゲームを開催して、3時間という短い時間にも関わらず150名以上の参加が得られるなど好評でした。3つのゲームは、蛇の回転錯視など静止画が動く錯覚などを利用した射的ゲーム、鏡に映った自分の手の像を見ながら図形をペンでなぞるゲーム、色と香りにより味の錯覚を起こさせるゲームでした。鏡の像を見ながらペンでなぞるゲームは、最初、上手く出来なくても、何度も練習を繰り返していると、手とその鏡像の動きの関係が学習され、間違わずになぞることが出来るようになるという知覚と運動の関係を学習する知覚運動学習を応用したゲームであり、味の錯覚のゲームでは、黄色＝レモン、赤色＝イチゴという視覚情報と香料により味に違いを生じさせる錯覚を体験するものでした。子どもだけではなく、大人も一緒に参加し「非常に良かった。ためになった」などの感想がありました。



2023年度第1回SRC (Student Research Conference)

2023年8月1日、「2023年度第1回SRC (Student Research Conference)」が開催されました。SRCは経営情報学部の学生がホームゼミにおける研究成果を発表する場で、年2回(夏・冬)行っています。

発表と質疑応答を含め10分(Short)、15分(Long)の持ち時間が与えられ、今回は4教室において卒業研究も含め70件を超える発表がありました。研究のテーマや関心は多岐にわたり、教員や参加学生からは様々な質問や意見、感想、アドバイスがあり有意義な場となりました。

〈出原至道ゼミ〉「ロボットアームをモーションセンサーで動かしてみる」「チキータのコーチングシステム作成に向けて」他 〈梅澤佳子ゼミ〉「日銀の今後の政策に関する一考察―黒田前日本銀行総裁の金融緩和政策を踏まえて」「世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2023―駅前サロン通信について」「世代間交流 八王子駅前サロンプロジェクト 2023『駅前サロン』(高齢者サロン)の上半期進捗状況報告」他 〈久保田貴文ゼミ〉「新型コロナウイルス流行期におけるプロ野球の試合観客動員数の変化」「奄美大島の防災対策のための気象データ分析」「商品パッケージのデザインコンセプトと売上との関連」「ビッグデータを活用した労働市場動向の分析と雇用予測モデルの開発」他 〈齋藤 S. 裕美ゼミ〉「SNSの投稿数、投稿頻度は生活の満足度に関係しているのか」「大学生におけるSNSによる交友関係に生じる事象について」「Instagramの利用と承認欲求の関係について」「大学生はLINE上でのコミュニケーションをどう捉えているか」「アルバイトにおける生活環境アンケート」他 〈彩藤ひろみゼミ〉「VRFes2023 ホラーゲーム開発を振り返って」「VR フェスタ実行までを振り返って」「ロボット制作を通して3Dプリンターとレーザーカッターに触れる」他 〈新西誠人ゼミ〉「画像生成AIの現状と展望」 〈高橋恭寛ゼミ〉「稽古談を読んで」「学問のすすめと啓蒙思想」「大町人山片蟠桃の生涯」他 〈中庭光彦ゼミ〉「道の駅 現状の課題と今後の可能性」「先進的なまちづくりをしている人のコミュニティ意識」「地元に移住者を増やして地域活性」「サッカーチームにおけるスポンサーとの協賛価値」「鬼怒川温泉ニューツーリズム成功例と失敗例」他 〈巴特爾ゼミ〉「シンガポールから学ぶIR戦略」「ユニクロ海外戦略―中国市場を中心に―」「日韓両国の若者同士の文化交流」「工業化が進むベトナムと日越関係の今後の展望」「台湾の食糧自給率と今後の発展」他 〈水盛涼一ゼミ〉「カリフォルニアへようこそ」「ニコニコ動画の衰退とビリビリ動画の繁栄」「日本の耐震技術から世界を見る」「書店の今後を考える」他

○発表の一覧は右記 URL および QR コードから閲覧することができます。

URL : <https://src.tama.ac.jp/>



後援会報告

経営情報学部

「後援会定期総会・教育セミナー」開催

2023年6月25日、多摩キャンパスにて、経営情報学部保証人（ご父母）様を対象とした「2023年度後援会定期総会・教育セミナー」（後援会主催）を開催しました。

○後援会定期総会

「第1号議案 2022年度事業報告（案）・決算報告（案）」「第2号議案 2023年度事業計画（案）・予算（案）」「第3号議案 後援会役員選任」について承認されました。

○教育セミナー 第1部

(1) 経営情報学部の教育方針 経営情報学部長・教授 小林 英夫

多摩大学の基本理念は国際性、学際性、実索性。教育理念は時代認識（アジアダイナミズムやDX・AIと向き合う）、社会問題解決（ビジネスの最前線で取り組む人材を育てる履修モデル）、少人数教育（その他大勢にならない）。高い専門技能を持ち即戦力として活躍でき、就業後も常に学び直し自らを研鑽する素養を持つ人材育成を目指すジョブ型人材育成コースとして、「先端的マーケティング心理（MP）コース」「実践的ビジネスエンジニアリング（BE）コース」を2022年度に新設。教育方針や就職支援など様々な取り組みや支援について説明しました。

(2) 学修成果報告 経営情報学部 学生2名

経営情報学部3年の草刈三結さんは、情報系の科目が多いことに魅力を感じ多摩大学に入学、齋藤S.裕美ゼミを選択した基準やゼミ活動、公務員試験対策など将来の目標に向けた学びの多い学生生活を報告。4年の森巧光さんは、経営学に興味があるなどの理由から多摩大学に入学。久保田貴文ゼミに所属し、就職活動では4社に内定。「人生一度きりだからやりたいことに挑戦」と自己紹介。ライフラインチャートを示し、1～3年まで各年次の過ごし方、ホームゼミでの学びなど充実した学生生活について発表しました。

○教育セミナー 第2部 ゼミ別懇談会 事務局相談（教務関連）

ゼミごとに会場となる教室に移動し、保証人様とゼミ担当教員が懇談を行いました。



後援会定期総会



小林学部長による教育方針の説明



学生による学修成果報告



ゼミ別懇談会の様子

グローバルスタディーズ学部

「第15回後援会定期総会」開催

2023年6月10日、湘南キャンパスにて、グローバルスタディーズ学部「第15回後援会定期総会」を開催しました。後援会定期総会終了後には、グローバルスタディーズ学部の教育方針の説明、アイグル・クルナザロバ教授による講演があり、午後からは個別相談が行われました。

○後援会定期総会

「第1号議案 2022年度事業報告および決算報告」「第2号議案 後援会役員選任」「第3号議案 2023年度事業計画および予算」が承認されました。

○グローバルスタディーズ学部の教育方針 学生委員長・准教授 田中孝枝

田中孝枝学生委員長が学部紹介を行いました。学部の学生数は592名（男性349名、女性243名、2023.5.1現在）、2022年度卒業生134名、就職率（名目）97.4%。教育方針として、目標はコミュニケーション力と課題解決力の養成。特色は「英語教育」「少人数教育」「国際性」。3つのキャリアパスは、2年生から選択できる「ホスピタリティ・マネジメントコース」「国際教養コース」、就職課程。キャリア支援課などが手厚い就職サポート。今後の重点は、英語教育の一層の強化、実学志向に沿ったカリキュラムの体系化、特別専修プログラムの充実。留学支援や資格取得などの取り組みについても説明しました。

○講演「PATH TO PEACE 平和への道」 教授 アイグル・クルナザロバ

「ユーラシアの平和への道を考える：ウクライナ危機をめぐるローカル、リージョナル、グローバルの視点」を英語で講演しました。2022年2月24日にロシアはウクライナに侵攻。ロシアによるウクライナ侵攻につながった重要なイベントのリスト、現在進行中の紛争がもたらす影響、紛争と国際法、紛争と国際関係、国際紛争の分析などウクライナにおける紛争について解析しました。

○個別相談

相談内容（履修・成績、就職、学生生活、留学）ごとに教室を分け、保証人様と教職員が学生の学習や生活などについて個別に話し合う機会となりました。



後援会定期総会



田中委員長による教育方針の説明



クルナザロバ教授の講演



個別相談の様子

CHP (特別専修プログラム) 学外活動報告

2023年8月3日(木)、グローバルスタディーズ学部2年生のCHP学外活動を実施しました。

CHPとは、「Career Honors Program (特別専修プログラム)」の略で、グローバルスタディーズ学部における人材育成のモデルとなる学生を育成するための特別専修プログラムであり、留学、国内外研修、就職に直結する科目の履修等を柱とし、目指すキャリアパスに沿って合理的に組まれたカリキュラムです。

今回の学外活動では、前半はANA(全日本空輸)グループの総合トレーニングセンターであるANA Blue Baseを訪問し、世界最新鋭の訓練設備を有する日本最大級の訓練施設を見学しました。空港の舞台裏や様々な職種と役割を理解する貴重な体験となりました。さらに現役CAの方との座談会の機会をいただき、経験談を交えながら質問に答えていただきました。実際に社会で活躍するCAの声は、今後の大学生活における目標や心構えに大きな影響を与えました。

学外活動後半は、東京国際空港ターミナル株式会社(TIAT)を訪問し羽田空港第3旅客ターミナルの概要と施設について説明を受け、特徴的なユニバーサルサービスを中心に見学しました。ユニバーサルデザインが人々の多様性を受け入れる重要な役割を果たしていることを学びました。

○ Career Honors Program (特別専修プログラム)の詳細はこちらをご覧ください。→



多摩大学チーム「遊行の盆」に参加

藤沢の夏の風物詩である「第16回藤沢宿・遊行の盆」が2023年7月22日(土)、23日(日)に藤沢駅周辺、及び遊行寺で開催されました。遊行の盆は、時宗の総本山「遊行寺」の開祖一遍上人が全国に広めた「踊り念仏」が盆通りの有力な起源といわれていることから始まった盆踊りイベントです。遊行おどりに加え、全国三大盆踊りの阿波踊り、西馬音内盆踊り、郡上踊りも招待して競演することで、毎回大きな盛り上がりを見せています。

コロナ禍のため実施を見合わせていた企画「遊行ばやしコンテスト」も4年ぶりに開催となりました。一般市民の方が参加して踊りやパフォーマンスを競うコンテストですが、今年は全18チームが参加し、グローバルスタディーズ学部からも留学生を含む14名(女性9名、男性5名)が「多摩大学」チームとして参加しました。コロナ禍前は本学も何回か参加していましたが、今回は盆踊りが初めてという学生も多く、遊行踊りの講師の方に指導していただいて練習を重ねてきました。

当日は梅雨明け初日と重なりかなりの暑さでしたが、久しぶりの開催とあって会場となるミナパーク前の通りは観客で大混雑し、熱気が溢れていました。卒業生の石川舞(令3卒)さんも応援に駆けつけ、プラカードを持って誘導してくださいました。学生チームは7番目の登場で、若干緊張した面持ちながらも練習の成果を存分に披露することができました。湘南の夏の盛り上げに一役買ってくれたとともに、学生たち自身も多くの人の注目の中で踊り切ったことで満足気な表情を見せていました。



学内での練習風景



コンテストでの踊り



コンテストでの踊り

レディオ湘南「グローバルに発信！」出演

グローバルスタディーズ学部では、レディオ湘南「グローバルに発信！」*の番組内で学部内外の活動・取り組みについて紹介しています。2023年4月以降の放送分がアーカイブとして多摩大学YouTubeチャンネルからお聞きいただけます。ぜひご視聴ください。

*レディオ湘南は、神奈川県藤沢市のコミュニティFM局。「グローバルに発信！」は、毎月第1・第3火曜日の12:30~12:40に放送中。

<https://www.youtube.com/@tamauniversity>



2023 年度 インターゼミ（社会工学研究会）合宿

2023年8月23日（水）～8月24日（木）、インターゼミ合宿が箱根にて行われました。

インターゼミ（社会工学研究会）は、寺島実郎学長直轄の経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の学生に大学院生及び卒業生を加えた学部横断、学年縦断型のゼミナールです。10名～20名単位で4つのチームを作り、研究テーマを設定して文献研究とフィールドワークを通じてチームとして課題に対する論文を1年間かけて書き上げます。多摩学班、アジアダイナミズム班、サービス・エンターテインメント班、デジタル・トランスフォーメーション（DX）班の4つのグループごとに中間発表を行い、質疑応答では活発な質疑が飛び交いました。最後は寺島学長から講評と研究の方向性に対してアドバイス、温かい激励がありました。緊張感も漂う中、チーム一丸となって行う共同研究発表となりました。文献調査やフィールドワークの実地調査もコロナ禍以前のように様々行われており、「ゼミ力の多摩大」を感じさせる充実した内容となりました。秋学期に入ると論文完成に向けてさらに研究を深めます。

〈中間発表研究内容〉

- サービス・エンターテインメント班：「広島観光」の可能性ー原爆・戦争・平和を学ぶ旅をどう組み立てるのか
- デジタル・トランスフォーメーション（DX）班：ChatGPTによって変化する社会～私たちはパンドラの箱を開けたのか？～
- アジアダイナミズム班：モンゴル帝国に立ち向かった人々～ロシアと中国～
- 多摩学班：多摩大学が防災で果たす役割～内水害とこれに関わる情報伝達の課題について～



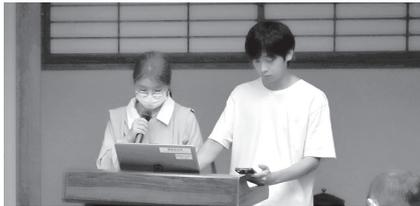
サービス・エンターテインメント班



デジタル・トランスフォーメーション班



アジアダイナミズム班



多摩学班



質疑応答の様子



寺島実郎学長講話

寺島実郎学長の番組紹介

TOKYO MX1（地上デジタル 9ch）

〈本当のことを知り、考える情報番組〉

『寺島実郎の世界を知る力』 テーマ「全体知への接近」

毎月第3日曜日 午前11:00～11:55

【前半】今月の世界と日本

【後半】歴史的・構造的視界から

世界認識を深掘りする

〈文化人・専門家・経営者と議論を深める番組〉

『寺島実郎の世界を知る力 対談篇ー時代との対話』

毎月第4日曜日 午前11:00～11:55

※2023年10月より隔月放送

《全国からPC・スマートフォンでご視聴頂けます》



Youtube 見逃し配信
※寺島文庫ウェブサイト



EMキャスト配信
※ TOKYO MX のサイト

徹底分析。 多摩大の志

Thorough analysis, Aspirations of Tama University.

「卒業生の志」サイトを リニューアル

多摩大学の卒業生にスポットをあてた特設サイト「卒業生の志」サイトをリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、卒業生へのインタビューの様子を動画でご覧いただけます（「2019年以前の記事はこちら」に掲載している卒業生のページでは動画はご覧いただけません）。現在の仕事や社会人になってから直面した試練をどのように乗り越えたかなどの質問を通して、社会で活躍している本学の卒業生たちが大学で身につけた力、その力を社会でどう生かしているか、卒業生たちの姿を通して、多摩大学で養われる力に迫った内容となっています。もうすぐ創立35年を迎える多摩大学は、1万人に上る有意な卒業生を輩出してきました。卒業生の活躍の一端を是非ご覧ください。

<https://www.alumni.tama.ac.jp/>



SPECIAL MOVIE



〈経営情報学部〉 ジョブ型人材育成コース活動状況報告

経営情報学部では、2022年度入学生から、ジョブ型人材育成コースを開始しました。これは、今後の企業の採用活動が、採用後に教育を行うことを前提とするメンバーシップ雇用から、特定の即戦力のスキルを持つことを求めるジョブ型雇用へと移行することを見越した教育システムです。

多摩大学ジョブ型人材育成コースには、データ分析・プログラミング・心理学を鍛える「先端的マーケティング心理コース（MPコース）」と、MBAレベルで、かつ、現場感覚のある経営を学ぶ「実践的ビジネスエンジニアリングコース（BEコース）」があります。各コース、1学年約20名の学生を、5名の教員が鍛えます。

今回は、MPコース、BEコースの活動状況・成果をご報告します。

先端的マーケティング心理コース（MPコース）

MPコースについて、出原至道コース長（経営情報学科長）からのメッセージ。

MPコースの設計時、その目標を「きちんとしたスキルを身につける」「単に学ぶだけでなく独自の提案や実装を行う」「外に出て勝負する」という3点に置きました。

MPコースでは、1年のコース導入科目として、前期にプログラミング、後期にデータ分析を指導します。2年生の開始時の選抜で、17名がコースの履修を開始し、2年前期には、心理学実験・人工知能利用の基礎を学びました。

このあとよいよ、コース履修生は「独自の提案・実装」「外に出て勝負」のステージに入ります。2年後期には、コース生全員が、経営科学系研究部会連合協議会の「データ解析コンペティション」^[1]に3チームに分かれて参加します。このコンペは、データ分析を専攻する大学院生が応募するレベルです。また、コース生3名を中心に日本バーチャルリアリティ学会主催のコンテストIVRCに応募し、居並ぶ大学院生を退けて、4倍以上の倍率の審査を通過し予選ステージに進みました^[2]。

多摩大学の高いレベルの教育を受けた学生が、学内で慢心することなく、また、いたずらに自分たちの能力を卑下することなく、客観的に自分の能力を評価できる場を提供することがMPコースの重要な役割であると考えます。このあとの、彼らの成果と成長にご期待ください。

[1] <https://jasmac-jjimdfree.com/>

[2] <https://ivrc.net/2023/release1/>

実践的ビジネスエンジニアリングコース（BEコース）

BEコースでは、経験データ分析やマーケティング能力を獲得し、事業戦略、財務会計、組織運営、業界研究・企業研究を専門的に学びながら、ビジネスの現場を体感する在学中のビジネス・シミュレーションを通じたイノベーション・シップを備えた人材育成のための授業を行っています。

学生は、教員が選定した企業から2社以上を選択、企業研究を通じてビジネスモデルを学ぶとともに理論との関連性を深め、選択した企業訪問を行います。企業訪問は、実社会のビジネス環境を理解するために実務体験を行うもので、学生は、事前に訪問企業、業種の分析、企業の強みや弱みなどから課題を発見、マーケティング戦略を立案し、競合分析等をもとに訪問企業に企画提案をプレゼンし、意見交換を行います。教員学生間においては、企業調査・研究の手法、質疑等の意見交換を行い学生の知見を深めることを狙いとしており、学生の卒業後のキャリア形成に寄与するものとなっています。

訪問企業

8月4日	京西テクノス株式会社（本社：東京都多摩市）
8月4日	グラン・グルメ株式会社多摩セントラルキッチン （所在地：東京都多摩市）
8月21日	株式会社ミートコンパニオン（本社：東京都立川市）
8月28日	JA 町田（本店：東京都町田市）
8月29日	日野市役所
8月29日	株式会社ショウエイ（本社：神奈川県川崎市）

以降も企業訪問予定



〇ジョブ型人材育成コースの詳細は右記 QR コードからご覧いただけます。

https://www.tama.ac.jp/faculty/smis/new_course.html



お知らせ

2023年 10/21 土

多摩キャンパス

経営情報学部

第35回 多摩祭

楽しさを作り上げる新しい「多摩祭」を

2023年 11/12 日

湘南キャンパス

グローバルスタディーズ学部

第17回 SGS Festa 2023

The most memorable school festival
— 最も記憶に残る学園祭 —